



熊本市小・中学校造形展について

熊本市図画工作・美術教育研究会主催の、造形展が行われています。この造形展は、小学校と中学校が立体作品を中心とした展示会で、毎年開催されています。この造形展に向けて、子供たちは図工の時間に一生懸命作品を制作しました。それらの作品の中から、各学級代表の作品が一点、熊本県立美術館分館に展示されています。また、今回の造形展に向けて、主事の橋本先生と担当の名越先生が、作品展示用台の制作に取り組み、造形展の中でも立派な「帯山西小学校コーナー」ができています。そこも併せてご覧いただくと幸いです。

また、この造形展を終えると、校内造形展が始まり、子供たちは、他学級・異学年の作品を鑑賞することになっています。作品鑑賞を通して、そのよさや造形美に触れて、今後の制作活動に活かして欲しいと思います。

熊本市小・中学校造形展

開催期間 令和5年1月11日(水)～15日(日)

平日 9:30～18:30(入館は18:00まで)

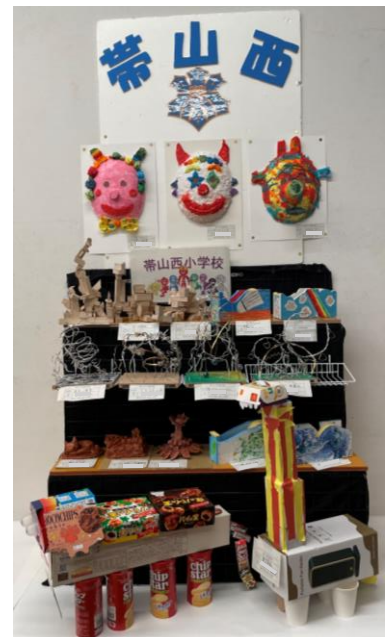
土日 9:30～17:15(入館は16:45まで)

開催場所 熊本県立美術館分館 展示室2

帯山西小学校 校内造形展

開催期間 令和5年1月17日(火)～20日(金)

※コロナ感染症拡大防止の観点から、子供たちのみの鑑賞となります。



先輩の姿から ～20歳になった帯西っ子～

1月上旬、今年20歳になる2014年度帯西小卒業のあるクラスが、集まっていた。約束の時間に続々と集まりました。先生が持っておられたタイムカプセルをみんなで開け、最後は、シンボルツリーのクスノッキーの前で記念写真を撮り、連絡先を交換し、会は終了しました。

会を見守っていると感心することがありました。まず、卒業生の代表が、責任をもち8年間大事に案内の葉書を保管し、今年確実にポストに投函したこと、みんなのために卒業アルバムを持って来た人がいること、また、体育館を少しの時間貸したとき、普通に靴が全員きれいに並べそろえられていたこと、知らない私(教頭)にさわやかに挨拶やお礼の言葉を言えること。どれも、今の帯西の在校生が数年後に育ってほしい姿でした。地域の素敵な卒業生のモデルに接し、新年からやる気が出て、心が高まる一時でした。